

三心を磨く

学校だより No. 2

令和7年5月2日（金）発行

須坂市立東中学校

文責：（教頭）

<http://www.azuma-school.ed.jp/>

参観日・PTA 総会ありがとうございました

今年度の学校運営にかかわって ～校長より～

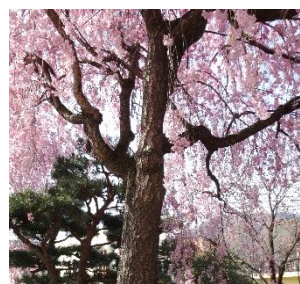


本校に赴任して最初に思ったことは、木々が美しいなあということでした。敷地を散策して感じたことを少しお話しさせていただきます。今週の火曜日に撮影した正門のしだれ桜です。美しい桜色を放っておりま
す。当然ですが、一輪一輪の花から構成されていて、一つ一つ違う表情をしています。



表から見ると、枝垂れる姿が美しいですが、内部を見ると…

垂れ下がる数々の小枝を、太い枝が支え、その太い枝を、一本の幹が支え、そして土の中では広く根を張り、この幹を支えているということがわかります。



もちろん、桜そのものが美しいのですが、空の色、穏やかな空気、木々の緑の中で一層、桜のピンク色が映えて見えます

ユキヤナギと桜、どちらも素敵な春の花ですが、互いが調和し合っ
て、美しい光景を作りだしていました。

2つのコラボレーションが、春の柔らかさや穏やかさを醸し出してくれ
ています。

学校の木々も、互いに引き立てあったり、補い合ったりしながら、そ
こに1つの木として存在しています。

学校のあるべき姿と似ているなと感じます。



これは校庭に咲くソメイヨシノ
です。木にクローズアップしてい
くと、枝の形や花つきの量、色合
いなど、桜の木の細かなところに
目が行きます。



ズームアウトし
てみると、そうい
ったことよりも、
桜のたたずまいに
目が行きました。



同じ時間に撮影したものです。今が見頃と咲き誇るしだれ桜の横で、土手の斜面に踏ん張るように八重桜が蕾を一杯に膨らませていました。

「私には私のタイミングがあるの」と八重桜が言っているように自分には思えました。

ふと足元を見ると…

若い八重桜の木が、すぐそばで育っていました。

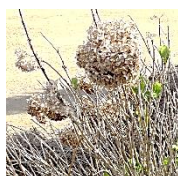
古い大人の木は斜面に沿うように枝をくねらせています。若い木は、細いですが、幹が真っ直ぐに伸びています。

きっと、若い木も、雨や風、夏の暑さや冬の寒さを克服するなど、この木なりに様々な経験をへて、幹をつくっていくのだらうなと思いました。

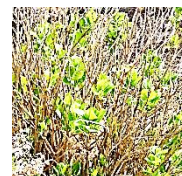


現在のあじさいの姿です。あじさいの季節は6月です。

これが 2024 年



これが 2025 年



今の季節は去年と今年が同居しています。6月近くになるとこの緑の葉が生い茂って、昨年の花や茎は茂みの中に見えなくなってしまいます。去年のことを茂みの中に潜めながら、今年は今年の葉を出し、蕾をつけていくんだ、と思いました。

「今の私を見てほしい」過去の私もちゃんとあるけど、人は変わるんだから、今年の私をちゃんと見て！そんなあじさいの声が聞こえてくるようです。

最後はロータリーの花壇の真ん中にあるあじさいの木です。太陽に向かって一生懸命葉を伸ばし、伸びようとしています。この葉っぱが子どもたちだとすると、太陽は、自分の未来といったところでしょうか。

明るく輝く未来へ向かって一生懸命手を伸ばしています。

では、子どもたちにとって、今年度がどのような学校生活であるか、それについて少し触れたいと思います。



本校の学校目標は「三心自立」です。三心とは「学ぶ心」「思いやる心」「鍛える心」。1年間の教育活動を通して、この三つの心を磨き、自立することを目指します。これは、文部科学省が提示した、日本が目指す教育の方向です。

本校では、人と協調しながら、自分自身の力でたくましく歩む姿を「生きる力」を備えた人、すなわち自立する一人の人であると考えています。

<文部科学省>

学校で学んだことが、子供たちの「生きる力」となって、明日に、そしてその先の人生につながってほしい。

これからの社会が、どんなに変化して予測困難な時代になっても、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、判断して行動し、それぞれに思い描く幸せを実現してほしい。

そして、明るい未来を、共に創っていききたい。(後略)

生きる力 学びの、その先へ

教育目標の具体についてお話しします。「学ぶ心」を磨き、「自立した学習者となる」ことを目指します。

日々の授業の中で、時に、自分に合った計画や目標をもとに、自分に合ったペースややり方で、最適な環境を自分で作り出し、その中で学習します。また、他者との学習の中で、自分の意見と他者の意見とを比較・検討しながら、互いの共通点や相違点をもとに、みんなにとっての最適解を見いだす学習もします。

「学ぶ心」(知)を磨く

課題を見出し、知識や情報を活用し、解決する能力

子どもたちが、

個別最適に学んだり

(自分のペース・やり方、自分に力がつく環境、自分に力がつく計画や目標など)

他者と協働的に学んだり

(級友、異年齢(縦割り・幼小高)、地域の方と、最適解(納得解)を導く)

することを通して、

自立した学習者となる

このような学習に取り組む中で、子どもたちは自分と向き合う場面が出てきます。

「自分に合うペースややり方はどうなんだろう？」

「どうしていつもここで間違えちゃうんだろう」

「あの人はこう言っているけど、自分は違うんだよね」

「なぜ～さんはそう思ったんだろう」など。

個別最適に学ぶ時も、協働的に学ぶ時も、軸は「自分」です。様々な授業や様々な学びの形を通して、生徒が自分自身と向き合い、新しい自分を発見したり、自分にどうしたら力がつくかを考えたりすることを通して「自分」という人間を作っていきます。

「思いやる心」とは、他人の気持ちを想像し、理解し、正しく判断し行動する強い心だと考えます。

中学生期は、思春期の真只中です。色々な葛藤の中で日々過ごしています。

「思いやる心」(徳)を磨く

多くの人とより良い人間関係を築く能力

・ 自分を大切にする心

・ いじめを許さない心

※自分を大切にすることは、他者の「自分を大切にしたい気持ち」を理解できる

→ 相手を許す、受け入れる、相手に寄り添う、正しく行動する心の強さ

※求中のいじめ防止基本方針(年度当初に全戸配布済み)

・ 早期発見と早期対応 → いじめアンケート、教育相談、相談窓口の設置

・ 組織対応 → 担任以外も対応に当たる(職員全員で全校生徒を見る)

<生徒指導提案(文科省)>

・ 多様性を認める(あらゆる他者を尊重する)心

親から自立したい、自分の考えでやりたい…でも怖い、不安、お父さん、お母さんを頼りたい…でも自分でやったことにならないし…

こんなことも自分はできなかったのか！他の人は簡単にできている…自分もできると思っていたのに…なんか思っていた自分と違う など。

ありのままの自分を受け入れること、受けとめること

と、自分を知ること、理解すること、これが一番難しいことですが、時間をかけて子どもと一緒に考え、「自分は自分でいいんだよ」と自分に言ってあげられる、強くたくましい心を育てたいと思います。

いじめについては、「いじめ防止基本方針」を全戸配布してございます。お読みいただきご確認ください。

多様性(ダイバーシティ)についても、今、広く叫ばれていますが、この「あらゆる他者を尊重する」ことの難しさを、ニュースなどを見て思います。子どもと一緒に、私たち大人も考え、多様性を認める強い心を培っていきたいと思います。

次に、「鍛える心」についてお話しします。

「3食きちんと食事をいただく、十分な睡眠をとる、適度に運動する」当たり前のことかも知れませんが、とても大切なことです。そういった基本的な生活のリズムが整っていると、子どもたちの心は安定し、ゆったりと、じっくりと、物事に取り組んだり、考えたりと、自分のことに集中できるのかなと思います。

「鍛える心」(体)を磨く

自立的に行動する能力

中学生期 適切な栄養と運動、十分な休息

食事 ・骨と筋肉が急速に発達する成長期
睡眠 ・睡眠は成長ホルモンが分泌される大切な時間
運動 ・運動時間の少なさ(県の課題 RG結果より)

中学生期 自らの生き方の模索が始まる

体験(失敗や挫折/克服/チャレンジ/成功)が重要

・自己理解
・逞しさ
タフネス
コミュニケーション力
レジリエンス
「強靭さ」「耐久性」「粘り強さ」
「意思疎通」「協調性」「自己表現能力」
「回復力」「復元力」「再起力」「弾力」

先ほども触れましたが、中学生の時期は心が揺れる時期です。子どもたちが揺らげば、周りの大人も揺らぎます。心穏やかではなくなります。だから、中学生のそばにいる、大人も不安なんです。

子どもたちにとって身近な大人は、親御さんであり、学校の職員であります。

学校と家庭が連絡を取り合い、心配な事や悩んでいることを相談しながら協力して、多感な中学生の時期を支えていきたいなと思います。

大人に見守られながら、中学生期を自分で乗り越えたその先には、このようなたくましい心が身についているのではないのでしょうか。以上、学校目標の具体的な内容についてお話しさせていただきました。

さて、この学校教育目標を具現していくための本年度、重点的に取り組むことは「連携」です。

これから職員で、具体的に詰めていきますが、「連携」が生み出す東中学校の新たな可能性や、「連携」による、新しい視点や視野の広がりから生まれる生徒たちの発想や提案により子どもたちにどのような学びが起きるのか、そこをわくわくしながら、私たちも一緒に創っていきたいと思っています。

最後に確認や連絡がございます。

本年度運営の重点

連携

- ・小学校と中学校(学びの連続性・系統性)
- ・児童会と生徒会(共同、自治活動)
- ・地域と学校(総合的な学習の時間)
- ・異年齢同士(縦割り、小学生、地域の方)

○震度5強の地震が起きたとき

須坂市では、学校の活動中に、震度5強以上の地震が発生した場合、
「連絡がなくても(通信手段が遮断された場合でも)、児童生徒を留め置き、原則として、保護者に直接引き渡す」となっております。

○部活動の地域移行について

- ・5月9日(金) 部活動参観・保護者会・部活動運営委員会
- ・市教育委員会より「今後の方針」について説明があります。

「震度5強の地震が起きたとき」

「部活動の地域移行について」の2点です。

今後とも、何かございましたら、学校へなんなりとご相談ください。

以上で終わります。

お聞きいただきありがとうございました。

令和7年度 PTA 活動も始動しました！



令和6年度丸山PTA会長より、令和7年度佐藤新PTA会長へと引継ぎが行われ、新しい体制でのPTA活動が力強くスタートしました。佐藤会長からは、日頃のPTA活動の充実や協力について、また、二年後に控えている70周年記念行事を見据えていくことや、今年度長野で行われる『日本PTA 関東ブロック研究大会ながの大会』の案内などについてのお話をいただきました。一年間よろしくお願いいたします。

<PTA 活動連絡> *大勢の皆さまのご参加をお待ちしております。

○ミニ資源回収 5月7日(水)～10日(土) 東中学校昇降口前広場 *アルミ缶もどうぞ!!

○学校保健委員会(兼 PTA 講演会) 5月9日(金) 14:20～15:20 東中体育館

演題 『自分らしく生きる～性の多様性とは?～』

講師 NPO 法人子ども・若者サポート はみんぐはみんぐ ピアスタッフ 坂井 真琴 様

※同日、16:50～17:10 位まで視聴覚室にて、部活動地域移行説明会(教育委員会より)があります。当日飛び入り参加もできます。

○第1回 PTA 作業 5月10日(土) 7:30～9:00 延期の連絡 7:00 tetoru にて